

令和7年度第2回環境省の政策評価に関する有識者会議における各委員の発言と各部局の対応整理表

部局	目標		発言委員	委員の発言	各部局の対応
地球環境局	1	1	百瀬委員	代替フロンガスやフロンガスが、地球温暖化やオゾン層に悪影響を及ぼしていることを、一般市民は認識していないようだ。 特に業務用冷蔵冷凍庫の廃棄や中古品の売却時に、適正処理ができているかどうか疑問である。 1－1の測定指標4の数値においても、目標値の 2180 万tに対しR3 5190 万t、R4 5240 万tと、改善されていない。 蛍光管の様に、フロン機器の製造を止め、ノンフロン機器導入促進を図る施策に切り替えるべきではないか。	HFC の排出量については、最新の集計結果からは R4をピークに減少傾向にあり、フロン類のライフサイクル全体にわたる排出抑制の取組の効果によるものと考えております。更なるフロン類の排出抑制のため、引き続き、本取組を推進したいと考えております。また、現在、低GWP冷媒を使用した機器の普及促進や、自然冷媒へ代替可能な機器については導入補助を行っており、今後も継続して推進したいと考えております。
	2	1			
再生循環局	4	1	百瀬委員	プラスチック製容器包装については、世界中がプラスチックごみを汚染物質として、製造に規制を掛けようとしているときに、リサイクル推進(R5は増加している)だけで良いのか。 ワンウェイプラスチック製品の製造規制や回収率などの汚染防止策を強化すべきではないか。	ワンウェイプラスチック製品の使用削減に向けて、容器包装リサイクル法及びプラスチック資源循環促進法に基づき、小売・サービス業者に対してワンウェイプラスチックの排出抑制に関する判断基準を設ける等により、対策を進めております。対策の効果については、その把握と公開に努めており、令和 7 年度の事前分析表において容器包装等の排出削減率を指標として追加したところです。

環境保健部	6	3	酒井委員 資料1での経緯説明、POPs 条約の対象物質は現在 37 物質群であること、継続的に追加されている一方で POPs 条約に追加されたことによる廃絶・削減によって環境中の濃度の減少につながった物質もあることから、①PCB や PFAS 類等の残留量や影響性等から社会的関心が高い物質(6物質群)については毎年調査対象、②既存調査において環境中で検出される濃度が低濃度である物質や不検出であることが確認されている物質については優先度を下げて3年毎や6年毎での調査対象としていること、説明としてはよく理解できた。その一方、資料 3 の政策評価書の目標6－3において、POPs 対象群数のみを指標として 11 という目標値や実績値をならべていくことでいいかについては、要検討と思料する。対象物質の物理化学特性や毒性、使用廃棄実態等により、社会への影響は相当に異なる物質特性がある中で物質数のみがメルクマールでいいか、という意味である。すぐに、この目標を見直すということは容易でないだろうが、少なくとも対象の 11 物質群の中に毎年異なる対象があるのであれば、物質名を併記した評価書にしてはどうか。	ご指摘を受けて、目標6－3における「測定指標の選定理由及び目標値(水準・目標年度)の設定の根拠」について、令和7年度事前分析表及び政策評価書(目標7－3)では物質数のみではなく、物質名と物質毎の選定理由を記載するようにいたします。
-------	---	---	---	--

施策名	目標 7－3 国際協調による取組										担当部局名	環境保健部 化学物質安全課 水銀・化学物質国際室			
施策の概要	化学物質関係の各条約（POPs条約（残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約）、水銀に関する水俣条約）に関連する国内施策を推進するとともに、OECD、UNEP等の国際機関との連携及び諸外国との国際協力を図り、化学物質による地球規模の環境汚染を防止する。										政策評価実施予定時期	令和 8年	政策評価実施時期		
達成すべき目標	化学物質関連条約に関する施策を推進するとともに、OECD、UNEP等の国際機関との連携を図り、化学物質による環境リスクを低減させる。また、我が国の汚染状況をモニタリングするとともに、東アジア地域を対象とした化学物質対策に係る国際協力により、有害化学物質による地球規模の環境汚染を防止する。										政策体系上の位置付け	7. 化学物質対策の推進			
施策に係る内閣の重要政策（施政方針演説等のうち主なもの）	第六次環境基本計画（令和6年5月21日閣議決定）第3部等														
測定指標	基準値		目標値		年度ごとの目標値 年度ごとの実績値							測定指標の選定理由及び目標値（水準・目標年度）の設定の根拠	達成		
		基準年度		目標年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度				
	1	POPｓ条約に基づく化学物質モニタリングの進捗度（一般環境中の測定を行っているPOPｓ条約対象及び候補物質群数）	－	－	11物質	R7年度	11	11	11	11	－	－	－	・POPｓ条約対象物質及び候補物質について、「化学物質環境実態調査のあり方について」(平成22年3月)の調査対象物質選定要件に基づき令和7年度においては下記の通り設定した。 ・PCB類: 非意図的生成やPCB特措法の観点から、長期間の継続した監視が必要 ・ヘキサクロロベンゼン: 多くの地点で中位以上の濃度で検出されることから選定 ・PFOS: 多くの地点で検出されており、社会的状況も踏まえて選定 ・ペンタクロロベンゼン: 多くの地点で中位以上の濃度で検出されることから選定 ・ヘキサクロブタ-1,3-ジエン: 2015年からの分析で上昇傾向がみられたことから選定 ・短鎖塩素化パラフィン: 類縁物質の中鎖塩素化パラフィンが新規POPｓに指定される見込みであることから選定 ・PFOA: 多くの地点で検出されており、社会的状況も踏まえて選定 ・PFHxS: 多くの地点で検出されており、社会的状況も踏まえて選定 ・デクロランプラス: 新規POPｓであり、継続した監視が必要 ・UV-328: 新規POPｓであり、継続した監視が必要 ・LC-PFCA: 新規POPｓに指定される見込みであり、社会的状況も踏まえて選定	
	2	途上国等の水銀対策に係るプロジェクトを形成・支援した数（累積）	0	H27年度	－	－	11	15	16	17	－	－	－	・水銀による環境リスクの低減のため世界の水銀対策を推進するという施策目的を踏まえ、途上国等の水銀対策に係るプロジェクトの形成・支援数を測定指標として設定した。 ・各年度の目標値については、令和5年度までは新型コロナウイルス感染症による渡航制限によるプロジェクト形成への影響を踏まえ、目標値を設定しないこととしたが、令和5年5月に「5類感染症」に移行したことから、令和6年分の目標値を設定し、新型コロナウイルス感染症の影響から設定していた令和8年度の目標値は削除した。 ・令和7年度の目標値は、これまで取り組んでいる活動のうち、プロジェクト形成が期待されるものとして設定した。	
3	GHSに基づく環境有害危険性分類を実施した分類物質数（再分類を含む）	－	－	－	－	160	160	80	70	－	－	－	・化審法、化管法等においてリスクが懸念される物質について、GHS（Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals; 化学品の分類および表示に関する世界調和システム）に基づく環境危険有害性の分類を着実に実施していくため、年度毎に設定した分類物質数が必要な物質数として目標値を年度内で確実に実施することを測定指標として設定した。		
						161	160	80	－	－	－	－			

達成手段 （開始年度）		関連する指標	行政事業 レビュー 事業番号		達成手段 （開始年度）		関連する指標	行政事業 レビュー 事業番号		達成手段 （開始年度）		関連する指標	行政事業 レビュー 事業番号		達成手段 （開始年度）		関連する指標	行政事業 レビュー 事業番号					
(1)	国際協調による化学物質対策事業（仮称）（平成10年度）	1, 2, 3	004936		(5)	—	—	—		(9)	—	—	—		(13)	—	—	—		(17)	—	—	—
(2)	—	—	—		(6)	—	—	—		(10)	—	—	—		(14)	—	—	—		(18)	—	—	—
(3)	—	—	—		(7)	—	—	—		(11)	—	—	—		(15)	—	—	—		(19)	—	—	—
(4)	—	—	—		(8)	—	—	—		(12)	—	—	—		(16)	—	—	—		(20)	—	—	—
	評価結果	目標達成度 合いの 測定結果	（各行政機関共通区分）																				
			（判断根拠）																				
		目標達成が 出来なかつた要因、その他施策の 課題等																					
			次期目標等 への 反映の方向性	【施策】																			
	【測定指標】																						
	学識経験を有する者の 知見の活用									SDGs目標との関係	【主な目標】												
										【副次的効果が期待される目標】													
政策評価を行う過程 において使用した資料 その他の情報																							